



首里城を救った男たち

伊東忠太

と

鎌倉芳太郎

—共同研究開始から100年—

左上:伊東忠太肖像写真(那覇市歴史博物館蔵) 左下:鎌倉芳太郎肖像写真(サントリー美術館蔵) 右:円覚寺大雄殿金剛会図壁画部分模写(当館蔵)

2023.

11.11 **土**

入場無料

14:00~16:00
(開場 13:30)

講師 伊禮 拓郎 (美術工芸)

会場 沖縄県立博物館・美術館
博物館講座室

受付 当日先着(定員80名)

お問合せ 098-941-8200
〒900-0006
沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1

今からちょうど100年前の1923年、後に沖縄文化研究に大きな足跡を残す伊東忠太と鎌倉芳太郎が会い、共同研究が始まりました。

1924年に首里城の取り壊しを阻止した二人は、その功績が認められ尚家関係者から首里城をはじめとする王家ゆかりの場所や美術品等の調査許可をもらいます。以降本格的な調査が始まり、得られた調査記録や収集物等は戦後の文化復興に大きな役割を果たしました。

本講座では、当館に伝わる両氏旧蔵のコレクションを交えながら研究の足跡を紹介します。

次回予告

2023. 12/9 **土** 14:00~16:00

「沖縄の生活の水と信仰」

講師 大城 沙織 (民俗)